

5 疾病6事業、在宅医療等の数値目標

- ・区分O：アウトカム指標（住民の健康状態や患者の状態を測る）
- ・区分P：プロセス指標（実際にサービスを提供する主体の活動や他機関との連携体制を測る）
- ・区分S：ストラクチャー指標（医療サービスを提供する物資資源、人的資源及び組織体制などを測る）

第2章 安心できる保健医療体制の構築

第1節 がんなど主要な疾病の医療連携体制

1 がん対策

区分	指標		現状値	目標値	指標の出典
P	喫煙率	男性	[R5] 20.7%	[R11] 17.0%以下	広島県県民健康意識調査
		女性	[R5] 6.1%	[R11] 5.0%以下	
P	がん検診受診率		[R4] 胃 50.4 肺 47.7% 大腸 44.0% 子宮頸 42.5% 乳 42.6%	[R10] 60%以上	国民生活基礎調査
P	市町検診の精密検査受診率		[R2] 胃 86.7% 肺 76.2% 大腸 69.7% 子宮頸 65.6% 乳 87.7%	[R11] 全て 90% 以上	地域保健・健康増進事業報告

区分	指 標	現状値	目標値	指標の出典
S	拠点病院等の放射線治療専門医等（常勤・専従）配置（HIPRAC 含む）	[R5] 13/14 拠点病院等	[R11] 全拠点病院等	拠点病院現況報告
	拠点病院へのがん薬物療法専門医等（常勤・専従）配置	[R5] 全拠点病院	[R11] 全拠点病院	拠点病院現況報告
	各圏域の拠点病院への病理専門医等（常勤・専従）配置	[R5] 全拠点病院	[R11] 全拠点病院	拠点病院現況報告
P	緩和ケア（PEACE）研修会修了者数（医師、看護師、薬剤師等）	[R4] 236 人 （累計 4,194 人）	[R11] 前年より増	県健康福祉局調べ
	緩和ケア認定看護師数	[R4] 94 人	[R11] 10 人増	日本看護協会 「データで見る認定 看護師」
S	がん患者に対応できる 地域包括支援センター数	[R5] 62/84 施設	[R11] 全地域包括支 援センター	県健康福祉局調べ
P	「広島がんネット」のアクセス件数	[R4] 175,488 件	[R11] 現状より増	県健康福祉局調べ
	T e a mがん対策ひろしま登録企業数	[R5] 188 社	[R11] 300 社	県健康福祉局調べ
S	学校保健計画に「がん教育」を位置付けている 公立学校数	[R4] 86.4%	[R11] 全公立学校	県教育委員会調べ

2 循環器病対策

区分	指標名		現状値	目標値	出典
P	1日の食塩摂取量 (成人)		[R1] 9.7 g	[R11] 8 g 以下	国民健康・栄養調査〔広島県分〕
P	1日の野菜摂取量 (成人)		[R1] 252 g	[R11] 350 g 以上	国民健康・栄養調査〔広島県分〕
P	日常生活における歩数	20～64歳 男性	[R5] 7,907 歩	[R11] 9,700 歩以上	広島県県民健康意識調査
		20～64歳 女性	[R5] 6,951 歩	[R11] 8,600 歩以上	
		65歳以上 男性	[R5] 5,811 歩	[R11] 7,300 歩以上	
		65歳以上 女性	[R5] 4,864 歩	[R11] 6,600 歩以上	
P	運動習慣のある人の割合	20～64歳 男性	[R5] 33.6%	[R11] 43%	広島県県民健康意識調査
		20～64歳 女性	[R5] 25.7%	[R11] 35%	
		65歳以上 男性	[R5] 54.5%	[R11] 64%	
		65歳以上 女性	[R5] 41.2%	[R11] 51%	
P	睡眠による休養が十分にとれていない人の割合		[R5] 21.1%	[R11] 16%以下	広島県県民健康意識調査
P	多量飲酒する人の割合 (成人)	男性	調整中		広島県県民健康意識調査
		女性			

区分	指標名	現状値	目標値	出典	区分
P	喫煙する人の割合 (成人)	男性	[R5] 20.7%	[R11] 17%以下	広島県県民健康意識調査
		女性	[R5] 6.1%	[R11] 5%以下	
P	肥満者の割合	20～60 歳代 男性	[R5] 28.5%	[R11] 26%以下	広島県県民健康意識調査
		40～60 歳代 女性	[R5] 18.0%	[R11] 15%以下	
P	進行した歯周炎を有する人の割合	40 歳代	[R4] 58.0%	[R11] 35%以下	広島県歯科保健実態調査
		50 歳代	[R4] 69.1%	[R11] 40%以下	
P	特定健康診査実施率		[R3] 52.5%	[R11] 70%以上	特定健康診査・特定保健指導の実施状況
P	特定保健指導実施率		[R3] 25.2%	[R11] 45%以上	特定健康診査・特定保健指導の実施状況
P	脳卒中・心臓病等について多職種による相談支援体制が構築された医療機関数		[R5] 0機関	[R11] 11 機関	広島県脳卒中・心臓病等総合支援センター調べ

2-1 脳卒中対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
O	救急要請から医療機関に収容までの平均時間	[R3] 42.5 分	[R11] 現状値より減少	消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」
S	脳卒中の相談窓口を設置している急性期脳卒中診療が常時可能な医療機関数	[R4] 7 施設	[R11] 12 施設 (未設置圏域 1 以上)	日本脳卒中学会からデータ提供

区分	指標名	現状値	目標値	出典
S	脳梗塞に対するt-P Aによる血栓溶解療法の実施医療機関数(人口10万人あたり)	[R3] 0.8施設	[R11] 0.8施設以上 (現状値以上)	R3(2021)年度NDB
P	脳梗塞に対するt-P Aによる血栓溶解療法の実施件数(人口10万人あたり)	[R3] 14.3件	[R11] 14.3件以上 (現状値以上)	R3(2021)年度NDB
S ◆	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施医療機関数(人口10万人あたり)	[R3] 0.4施設	[R11] 0.4施設以上 (現状値以上)	R3(2021)年度NDB
P	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施件数(人口10万人あたり)	[R3] 9.6件	[R11] 13.5件以上 (第1次計画目標値継続)	R3(2021)年度NDB
S ◆	脳血管疾患等リハビリテーション料(I、II、III)の届出医療機関数(人口10万人あたり)	[R3] 6.9施設	[R11] 8.8施設以上 (第1次計画目標値継続)	R3(2021)年度NDB
P	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(人口10万人あたり)	[R3] 778.4件	[R11] 778.4件以上 (現状値以上)	R3(2021)年度NDB
P	脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施件数(人口10万人あたり)	[R3] 60.2件	[R11] 60.2件以上 (現状値以上)	R3(2021)年度NDB
O	脳血管疾患の退院患者平均在院日数	[R2] 65.2日	[R11] 65.2日以下 (現状値以下)	R2(2020)年患者調査
O ◆	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	[R2] 57.1%	[R11] 62.6% (第1次計画目標値継続)	R2(2020)年患者調査(個票解析)
O	脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万人あたり)	[R3] 男性28.6 女性17.3	[R11] 男性26.4 [R11] 女性16.6 (第1次計画目標値継続)	R3(2021)年人口動態統計

◆:国基本計画の重点指標

2-2 心筋梗塞等の心血管疾患対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
P ◆	救急要請から医療機関に収容までの平均時間	[R3] 42.5分	[R11] 現状値より減少	消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」
P	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施率	[R3] 90.0%	[R11] 95.8% (R3 圏域最高値)	R3 (2021) 年度 NDB
P ◆	PCI を施行された急性心筋梗塞患者数のうち、90分以内の冠動脈再開通割合	[R3] 70.0%	[R11] 79.1% (R3 圏域最高値)	R3 (2021) 年度 NDB
P	「心筋梗塞・心不全手帳」の活用（配布部数）	[R4] 累計 75,535 部	[R11] 累計 130,000 部	広島大学病院心不全センター、地域心臓いきいきセンター調べ
P ◆	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数（人口 10 万人あたり）	[R3] 154.7 件	[R11] 182.8 件 (R3 全国平均)	R3 (2021) 年度 NDB
P ◆	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数（人口 10 万人あたり）	[R3] 86.5 件	[R11] 145.2 件 (R3 全国平均)	R3 (2021) 年度 NDB
○ ◆	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	[R2] 7.2 日	[R11] 5.4 日以下 (第 1 次目標値継続)	R2 (2020) 年患者調査
○ ◆	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	[R2] 91.1%	[R11] 96.3%以上 (R2 圏域最高値)	R2 (2020) 年患者調査
○ ◆	在宅等生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	[R2] 75.2%	[R11] 75.2%以上 (現状値以上)	R2 (2020) 年患者調査
○	心疾患（高血圧性を除く）の年齢調整死亡率（人口 10 万人あたり）	[R3] 男性 68.2 女性 39.0	[R11] 男性 68.2 以下 [R11] 女性 39.0 以下 (現状値以下)	R3 (2021) 年人口動態統計
○	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（人口 10 万人あたり）	[R3] 男性 11.9 女性 04.3	[R11] 男性 11.9 以下 [R11] 女性 04.3 以下 (現状値以下)	R3 (2021) 年人口動態統計
○	心不全の年齢調整死亡率（人口 10 万人あたり）	[R3] 男性 22.7 女性 18.0	[R11] 男性 16.5 以下 [R11] 女性 12.4 以下 (第 1 次目標値継続)	R3 (2021) 年人口動態統計

区分	指標名	現状値	目標値	出典
○	大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率 (人口10万人あたり)	[R3] 男性 5.6 女性 3.2	[R11] 男性 4.1 以下 [R11] 女性 1.8 以下 (第1次目標値継続)	R3 (2021) 年人口動態統計
○	不整脈及び伝導障害の年齢調整死亡率 (人口10万人あたり)	[R3] 男性 13.7 女性 06.7	[R11] 男性 13.7 以下 [R11] 女性 06.7 以下	R3 (2021) 年人口動態統計

◆:国基本計画の重点指標

3 糖尿病対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
S	特定健康診査実施率	[R3] 52.5%	[R11] 70%以上	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
S	特定保健指導実施率	[R3] 25.2%	[R11] 45%以上	
○	糖尿病性腎症による新規透析導入患者の減少	[R3] 361人 (H27(392人)比7.9%減)	[R11] 350人 (H27:392人)の10%減)	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」

4 精神疾患対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
○	精神病床における入院需要 (患者数)	[R4] 急性期 (3 か月未満) 1,394 人 回復期 (3 か月以上 1 年未満) 1,334 人 慢性期 (1 年以上・65 歳以上) 3,231 人 慢性期 (1 年以上・65 歳未満) 1,489 人	[R8] 急性期 (3 か月未満) 1,319 人 回復期 (3 か月以上 1 年未満) 1,262 人 慢性期 (1 年以上・65 歳以上) 3,056 人 慢性期 (1 年以上・65 歳未満) 1,408 人	精神保健福祉資料
○	精神病床における各時点の 退院率	[R2] 入院後 3 か月時点 59.9% 入院後 6 か月時点 76.8% 入院後 1 年時点 85.2%	[R8] 入院後 3 か月時点 68.9% 入院後 6 か月時点 84.5% 入院後 1 年時点 91.0%	NDB 集計
○	精神病床から退院後 1 年以内の 地域における平均生活日数	[R 元]314 日	[R8]325.3 日	厚生労働省調査
○	自殺死亡率 (人口 10 万人対)	[R4]17.4 人	[R9]13.2 人	人口動態統計
S	発達障害に係る地域支援ネットワーク体制が整備された市町数	[R4]4 市町	[R11]23 市町	ひろしま子供の未来応援プラン 第 5 次障害者プラン

第2節 救急医療などの医療連携体制

1 救急医療対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
調整中				

2 災害医療対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
S	DMA Tのチーム数	[R4] 31 チーム	[R11] 43 チーム	県健康福祉局調べ
S	病院における業務継続計画（BCP）の策定率 （災害拠点病院を除く）	[R4] 36.3%	[R7] 100%	県健康福祉局調べ
P	EM I Sの緊急時入力訓練を含む訓練・研修に 参加した病院の割合	[R5] 82.9%	[R7] 100%	県健康福祉局調べ
P	圏域単位の災害対応訓練・研修に参加した病院 の割合	[R5] 48.5%	[R8] 100%	県健康福祉局調べ
P	災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機 関との連携の確認を行う災害実動訓練を実施し た災害拠点病院の割合	[R4] 74%	[R8] 100%	県健康福祉局調べ

3 新興感染症発生・まん延時における医療対策

区分	指標名	目標値	出典
S	確保病床数	[R11] 891 床	県健康福祉局調べ
S	確保病床数のうち、流行初期医療確保措置	[R11] 396 床	県健康福祉局調べ
S	発熱外来数	[R11] 1,499 機関	県健康福祉局調べ
S	発熱外来数のうち、流行初期医療確保措置	[R11] 779 機関	県健康福祉局調べ
S	自宅療養者等への医療提供医療機関数	[R11] 386 機関	県健康福祉局調べ
S	自宅療養者等への医療提供薬局数	[R11] 810 機関	県健康福祉局調べ
S	自宅療養者等への医療提供訪問看護事業所数	[R11] 69 機関	県健康福祉局調べ
S	後方支援医療機関数	[R11] 122 機関	県健康福祉局調べ
S	派遣可能医師数	(調整中)	県健康福祉局調べ
S	派遣可能看護師数	(調整中)	県健康福祉局調べ
S	個人防護具を2ヶ月以上確保している医療機関数	[R11] 1,263 機関	県健康福祉局調べ
S	院内感染対策に関する地域のネットワークに参加している医療機関数	[R11] 1,510 機関	県健康福祉局調べ
P	年1回以上、新興感染症患者の受入研修・訓練を実施 又は外部の研修・訓練に医療従事者を参加させている割合	[R11] 100%	県健康福祉局調べ

4 へき地医療対策

区分	指標等	現状値	目標値	出典
S	へき地医療拠点病院・支援病院数	[R5.4] 拠点：12施設 支援：1施設	[R11] 必要に応じて増加させる。	県健康福祉局調べ
S	へき地診療所数	[R5.4] 18施設	[R11] 現状を維持し、必要に応じて増加させる。	県健康福祉局調べ
P	へき地医療拠点病院間の連携強化（関係病院間の医師派遣回数/年）	[R4実績] 449回	[R11] 600回	県健康福祉局調べ
O	医師数（過疎市町の人口10万人対医療施設従事医師数）	[R2] 200.0人	[R8] 208.9人以上	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
O	歯科医師数（過疎市町の人口10万人対医療施設従事歯科医師数）	[R4] 72.0人	（調整中）	厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」
O	看護職員数（過疎市町の人口10万人対医療施設従事看護職員数）	[R4] 1659.0人	（調整中）	厚生労働省「保健・衛生行政業務報告（衛生行政報告例）」
O	総合診療専門研修プログラム採用専攻医数	[R5] 6人	[R11] 毎年4人ずつ増加させる。	県健康福祉局調べ
O	自治医大卒業医師県内定着率	[R4末] 69.3%	[R11] 75.0%	県健康福祉局調べ
O	「ふるさとドクターネット広島」登録者数	[R4末] 3,174人	[R11] 4,014人	県健康福祉局調べ
O	地域の拠点病院を中心とした人材交流・育成に係るネットワークの構築数	[R4末] 2地域	[R11] 5地域	県健康福祉局調べ

5 周産期医療対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
○	周産期死亡率	[H30～R4] 3.4 (参考：全国) 3.3	直近5年間での平均値が現状値未満	厚生労働省 「人口動態統計調査」 から算出
S	災害時小児周産期リエゾン任命者のうち、訓練や研修に参加した人数	[R5] 1名/年	[R11] 5名以上/年	県健康福祉局調べ

6 小児医療（小児救急医療を含む）対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
○	乳児死亡率	[H30～R4] 1.6 (参考：全国) 1.8	直近5年間での平均値を全国平均値以下で維持	厚生労働省 「人口動態統計調査」 から算出
○	幼児死亡率	[H30～R4] 0.38 (参考：全国) 0.44	直近5年間での平均値を全国平均値以下で維持	厚生労働省 「人口動態統計調査」 から算出
○	小児死亡率	[H30～R4] 0.18 (参考：全国) 0.18	直近5年間での平均値を全国平均値以下で維持	厚生労働省 「人口動態統計調査」 から算出
S	災害時小児周産期リエゾン任命者のうち、訓練や研修に参加した人数	[R5] 1名/年	[R11] 5名以上/年	県健康福祉局調べ

第3節 在宅医療と介護等の連携体制

1 医療介護連携等の構築及び推進

区分	指標名	現状値	目標値	出典
調整中				

2 訪問歯科診療の充実

区分	指標名	現状値	目標値	出典
S	在宅療養支援歯科診療所数	[R4] 241 施設	[R11] 346 施設以上	中国四国厚生局施設 基準届出受理状況
S	訪問口腔衛生指導を実施している診療所・病院数	[R4] 255 施設	[R11] 370 施設以上	Emitas-G (広島県)

3 訪問薬剤管理指導の充実

区分	指標名	現状値	目標値	出典
S	在宅医療に参加する薬局数	[R4] 730 施設	[R11] 900 施設	県薬局機能情報報告制度
S	小児の在宅医療に対応可能な薬局数	[R4] 272 施設	[R11] 500 施設	公益社団法人広島県薬剤師会調べ
P	薬局薬剤師が地域の医療・介護関係の他職種と連携する会議に出席している保険薬局の割合	[R4] 30%	[R11] 60%	県健康福祉局調べ

4 訪問看護の充実

区分	指標名	現状値	目標値	出典
P	訪問看護事業所に所属する特定行為研修修了者数	[R4] 3人	(調整中)	厚生労働省 衛生行政報告例（業務従事者届）
P	訪問看護事業所に所属する認定看護師数	[R4] 17人	(調整中)	公益社団法人日本看護協会 認定看護師登録者一覧

6 人生の最終段階における自己決定

区分	指標名	現状値	目標値	出典
S	ACP認知度	調整中		
S	ACP実施施設数の割合			

第4節 外来医療に係る医療提供体制

指標名	現状値	目標値	出典
初期救急	調整中		
在宅医療			

第5節 医療に関する情報提供

1 患者の医療に関する選択支援

指標等	目標の考え方	現状値	目標値	指標の出典
医療機能情報の報告率	医療サービスの選択を支援する。	[R4] 85.0%	報告率の向上	救急医療情報システム

第3章保健医療各分野の総合的な対策

1 原爆被爆者医療対策

指標等	現状値	目標値	指標の出典
一般疾病医療機関指定率 (病院・診療所) (総数のうち休止中及び被爆者医療と関連が薄い診療科のみを標榜する医療機関を除いた県内の保険医療機関等に占める一般疾病医療機関の割合)	[R4] 98.1%	現状維持 [R11] 98.1%	県健康福祉局調べ

2 障害保健対策

指標名	現状値	目標値	出典
発達障害に係る地域支援ネットワーク体制が整備された市町数	[R4] 4市町	[R8] 15市町	健康福祉局調べ
調整中			
医療的ケア児等コーディネーター等を配置し、医療的ケア児及びその家族の対応窓口を対外的に明示し、支援を行っている市町数	[R4] 12市町	[R7] 23市町	健康福祉局調べ

3 感染症対策

区分	指標名	現状値	目標値	出典
○	肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率	[R3] 4.0	[R8] 全国平均以下まで低減	第4次広島県肝炎対策計画
P	肝炎ウイルス検査を受けたことがある者の割合	[R4] B型 57.6% C型 46.8%	[R8] B型 70% C型 60%	第4次広島県肝炎対策計画

4 臓器移植・造血幹細胞移植の推進

指標名	現状値	目標値	出典
骨髄ドナー年間新規登録者数（県内）	[R2～R4平均] 832人	直近3年間の 平均値を上回る	（公財）ひろしまドナーバンク調べ

5 難病対策

指標名	現状値	目標値
医療従事者研修会の実施	[R4] 2回	[R11] 2回

6 アレルギー疾患対策

指標名	現状値	目標値	出典
アレルギー疾患医療拠点病院数	[R4] 1か所	[R11] 1か所（維持）	—
医療従事者研修会への医師以外の職種の参加割合	[R4] 37.9%	[R11] 50%以上	広島県アレルギー疾患対策研修会アンケート

7 母子保健対策

指標名	現状値	目標値	出典
夫婦そろって同時期から不妊検査・治療を始めた割合	[R3] 86.8%	[R11] 90.5%	県健康福祉局調べ
乳幼児健康診査の未受診率	[R3] 1歳6か月児 10.5% 3歳児 13.7%	[R11] 1歳6か月児 4.8% 3歳児 5.4% (R3 全国平均)	地域保健・健康増進事業報告
ひろしま版ネウボラの基本型を実施している市町数	[R4] 17市町	[R11] 23市町	県健康福祉局調べ
安心して妊娠、出産、子育てができると思う者の割合	[R4] 78.7%	[R11] 84%	県健康福祉局調べ

8 歯科保健対策

指標名	現状値	目標値	出典
40歳代で進行した歯周炎を有する人の割合	[R4] 58.0%	[R11] 35%以下	広島県歯科保健実態調査
80歳で20本以上の自分の歯を有する人の割合	[R4] 62.0%	[R11] 85%以上	広島県歯科保健実態調査
50歳以上における咀嚼良好者の割合	[R4] 77.6%	[R11] 80%以上	広島県歯科保健実態調査

9 健康増進対策

指標名	現状値	目標値	出典
健康寿命	[R1] 男 72.71 年 女 74.59 年	全国平均を上回り、平均寿命の伸び以上に延伸	厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群	[R3] 21.6 万人 H20 (30.4 万人) に比べ 25%減少 ※	[R17] H20 (30.4 万人) に比べ 25%減少 ※	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
特定健康診査実施率	[R5] 70%以上	[R17] 70%以上	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況」
特定保健指導実施率	[R5] 45%以上	[R17] 45%以上	
COPD 認知度	[R5] 56.8%	[R11] 80%以上	広島県県民健康意識調査

※ 第3期医療費適正化計画に基づく算定による。

10 リハビリテーションの推進

指標名	現状値	目標値	出典等
人材育成拠点病院施設数	—	[R11] 12 施設	二次医療圏毎に設置
認定指導者数 (理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)	—	[R11] 230 名	人材育成拠点病院等の従事者数から算出
回復期病床数	[R4] 6,342 床	[R7] 9,747 床	広島県「病床機能報告」

第4章地域医療構想の取組

指標名	現状値	目標値
県内全ての公立・公的・民間医療機関の対応方針の策定率 ※	[R4] 12%	[R7] 100%

※既に対応方針の策定率が100%に達している場合は、策定した対応方針の実施率等とする。

第5章保健医療体制を支える人材の確保

1 医師の確保・育成

区分	指標等	目標の考え方	現状値	目標値 (R8)	指標の出典
S	10万人当たり医療施設 従事医師数	現状の水準を維持・向上させ ます。	[R2] 267.1人	[R8] 269.3人以上	厚生労働省「医師・歯 科医師・薬剤師調査」
S	過疎地域の対10万人当 たり医療施設従事医師 数	現状の水準を維持・向上させ ます。	[R2] 200.0人	[R8] 208.9人以上	厚生労働省「医師・歯 科医師・薬剤師調査」
S	30歳代までの医療施設 従事医師数	現状の水準を維持・向上させ ます。	[R2] 1,910人	[R8] 2,040人以上	厚生労働省「医師・歯 科医師・薬剤師調査」
P	初期臨床研修医のマッ チ者数	マッチ者数の安定的確保を目 指します。	[R4] 169人	[R8] 181人	医師臨床研修マッチン グ協議会調べ
O	総合診療専門研修プロ グラム採用専攻医数	毎年4人ずつ増やします。	[R5] 6人	[R8] 4人	日本専門医機構調べ
O	自治医大卒業医師県内 定着率	県内定着率を増加させます。	[R4末] 70.9%	[R8] 75%	県健康福祉局調べ
S	ふるさとドクターネッ ト広島登録者数	毎年115人ずつ増やします。	[R4末] 3,174人	[R8] 3,519人	県健康福祉局調べ
O	短時間正規雇用による 女性医師数（支援医師 数）	女性医師の就業環境の向上を 支援し、維持します。	[R4] 延228人	[R8] 延228人以上	県健康福祉局調べ

3 薬剤師の確保・育成

区分	指標名	現状値	目標値	出典
○	薬剤師確保対策により確保された病院薬剤師数	—	[R8] 14人 [R18] 62人	県健康福祉局調べ
P	在宅医療の質向上のための知識・技能を習得し、他職種連携研修を修了した薬局薬剤師数	[R4] 303人	[R8] 537人 [R18] 1,317人	県健康福祉局調べ

4 看護職員の確保・育成

区分	指標等	現状値	目標値	指標の出典
S	就業看護職員数	[R5.9 暫定] 44,940人	[R11] 45,648人	厚生労働省 「衛生行政報告例」
○	看護職員離職率	9.8%※	[R11] 9.4%	県調査「看護職員の職場環境づくり実態調査」
○	再就業者の雇用継続率	[R4] 86.1%	[R11] 90.6%	広島県ナースセンター実績
P	特定行為研修修了看護師数	[R4] 75人	[R11] 210人	厚生労働省 「衛生行政報告例」

※現状値は、平成29（2017）年度から令和元（2019）年度の平均値とする。

5 介護職員の確保・育成

区分	指標名	現状値	目標値	出典
調整中				

第7章 医療費の適正化

区分	指標名	現状値	目標値	出典												
P	特定健康診査の実施率	[R3]52.5%	[R11]70%以上 【目安とする保険者別数値】 <table border="1"> <tr> <td>市町国保</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>国保組合</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ (船保)</td> <td>70% (70%)</td> </tr> <tr> <td>単一健保</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td>総合健保・私 学共済</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>共済組合</td> <td>90%</td> </tr> </table>	市町国保	60%	国保組合	70%	協会けんぽ (船保)	70% (70%)	単一健保	90%	総合健保・私 学共済	85%	共済組合	90%	特定健康診査・特定保健 指導の実施状況
市町国保	60%															
国保組合	70%															
協会けんぽ (船保)	70% (70%)															
単一健保	90%															
総合健保・私 学共済	85%															
共済組合	90%															
P	特定保健指導の実施率	[R3]25.2%	[R11]45%以上 【目安とする保険者別数値】 <table border="1"> <tr> <td>市町国保</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>国保組合</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ (船保)</td> <td>35% (30%)</td> </tr> <tr> <td>単一健保</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>総合健保・私 学共済</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>共済組合</td> <td>60%</td> </tr> </table>	市町国保	60%	国保組合	30%	協会けんぽ (船保)	35% (30%)	単一健保	60%	総合健保・私 学共済	30%	共済組合	60%	
市町国保	60%															
国保組合	30%															
協会けんぽ (船保)	35% (30%)															
単一健保	60%															
総合健保・私 学共済	30%															
共済組合	60%															
O	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	[R3]11.5%	[R11] 25%以上													
P	市町が実施するがん検診の受診率	[R3] 胃がん：50.4% 肺がん：47.7% 大腸がん 44.0% 子宮がん 42.5% 乳がん：42.6%	[R10] 60%以上 (検討中)	国民生活基礎調査												

区分	指標名	現状値	目標値	出典
S	後発医薬品の使用割合	[R4]81.4%	新たな政府目標を踏まえ、令和6年度に設定	NDB データセット
S	バイオ後続品の使用割合	—	国の分析報告を踏まえ、令和6年度以降に検討	—